



平成 18 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社角川グループホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼COO 本間 明生
(コード番号9477 東証第一部)
問合せ先 取締役統括マネジャー 梶田 敏夫
(TEL 03-3238-8710)

業績予想の修正に関するお知らせ

掲題の件、平成 19 年 3 月期中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）の業績予想について、平成 18 年 4 月 28 日発表数値を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間期連結業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	72,000	3,500	1,800
今 回 修 正 (B)	73,000	4,050	2,000
増 減 額 (B)－(A)	1,000	550	200
増 減 率 (%)	1.4	15.7	11.1
(ご参考) 前期(平成 18 年 3 月期中間期)実績	71,568	2,290	534

2. 平成 19 年 3 月期中間期個別業績予想の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	2,900	2,150	2,050
今 回 修 正 (B)	3,100	2,350	2,000
増 減 額 (B)－(A)	200	200	△50
増 減 率 (%)	6.9	9.3	△2.4
(ご参考) 前期(平成 18 年 3 月期中間期)実績	2,460	1,927	1,558

3. 修正の理由

- ① 連結子会社の出版事業において、文庫及びライトノベルズの売上が好調に推移したことにより、連結損益計算書において、前期（平成 18 年 3 月期中間期）実績と比較して、経常利益で 176.9%、当期純利益で 374.5%と、大幅に増加いたしました。また、前回予想値との比較においても、経常利益で 15.7%、当期純利益で 11.1%の増加となりました。

- ② 個別損益計算書においては、米国子会社カドカワホールディングスU Sの投資先であるドリームワークス・アニメーション株価の影響により、同社の実質価値が低下するため、投資評価引当金繰入額 440 百万円を計上する必要が生じました。
 - ③ また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、実質価額が低下し、その回復があると認められないものについて、個別損益計算書及び連結損益計算書において、減損処理による投資有価証券評価損 45 百万円を計上する必要が生じました。
4. 平成 19 年 3 月期の連結及び個別の通期業績予想数値につきましては、本年 10 月 26 日の中間決算発表時にお知らせいたします。

以 上